



精神病態セミナー

アストロサイトに着目した うつ病治療の作用機序解明と 臨床への展開

演者：朴 秀賢 先生

新潟大学大学院 医歯学総合研究科
精神医学分野 教授

日 時 2026年 1月 28日（水）18:00～19:00（質疑応答含む）

開催方法 Zoomを用いたLIVE型のweb形式

参加費 無料

参加方法 1月27日（火）までに下記URLよりお申し込みください。
精神疾患病態研究部のHPからもお申し込みいただけます。

<https://forms.gle/HC3aV5shpnFVg7Um6>

※事前申込が必要です。

うつ病治療の中心は抗うつ薬による薬物療法であり、治療抵抗性や重症である場合は電気けいれん療法（ECT）が実施される。しかし、抗うつ薬の効果の限界、ECTの実施制約などが課題となっている。また、従来のモノアミン仮説では抗うつ薬の作用発現遅延を説明できず、ECTの作用機序は未だに不明である。したがって、抗うつ薬やECTの作用機序の新たな観点からの解明は、より有効で負担の少ない新規治療法の開発につながると期待される。本講演では、アストロサイトに焦点を当てた抗うつ薬およびECTの作用機序に関する演者の研究成果を紹介し、それらの知見が将来的に臨床応用へどのように展開し得るかについて議論する。

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神疾患病態研究部

橋本亮太 Tel: 042-346-2046（内線6255）

共催：東京科学大学難治疾患研究所「共同利用・共同研究システム形成事業-学際領域展開ハブ形成プログラム-」